

第15回と第16回研究会を  
東部 県立図書館で行いました。

研究会出発から

3年を経て、今年度から年会費を集めて、本格的な研究会とし、会則も定めて会員同士の繋がりを深めていきます。



15回研究会の様子

さてその初年度に力を入れるのはブックレット作成です。第15回は、「紙芝居」を見た後、目次を検討しました。第16回は「かたの出生」と「堀正一家高知から龍野へ」の原稿案を検討しました。  
かたの父和田邦之助を語るには江戸時代の鳥取藩池田家の成り立ちから切り出さなくてははいけません。知行地であった松崎での和田はやはり地元の資料が必要で、今回会員の中嶋二三雄さ

んの準備で深めることができました。

今までの東

部・中部・西部

の研究会で知り

えた情報を取り

入れた本にした

いと願っている。



16回研究会の様子

る。

安部宙之助氏の「露風の『赤とんぼ』の母」

は間違いはあるが、道夫氏からの直接聞いたこ

とに基づくものであり、何にしても一番の参考

文献である。今回から一年間熟読したいものな

ので、資料配布をした。ほかにも絶版のものも

あるので、追々コピーできるものは会員皆で読

むことにしたい。

来年は碧川かたの没後六〇年、又露風の「赤

とんぼ」の歌詞ができて一〇〇年の節目になる

ので、研究会のまとめとしても本を仕上げたい

と願っている。

四井幸子

「松崎町の御用日記について」

中嶋二三雄

(今回説明の概略)

松崎町の史料である御用日記には安政四年が中心に書かれている。安政四年は和田邦之助が、初めて家老になった年でもある。邦之助はこの年に入部(松崎町の訪問)をしている。数えで若干十九歳、凛々しく、かつこよかったのではないだろうか。松崎町の役人、和田家臣のお出迎えに始まって、入部行事がこなされていく。なかでも松崎町の功労者のお目見えが私の一番お気に入りの場面である。

邦之助が一段高い二上台に座り、一人一人町民と会話していく。町民のかしこまった姿、邦之助の様子が目に浮かんでくるようである。松崎の御用日記は長い徳川時代の中で1年余りの記録しか残されていない。その中に、かたの父邦之助、そして養母の父堀喜左衛門の日常が描かれているのである。あらためてありがたいと思わざるを得ない史料である。

和田家の家紋(五つ割木瓜) ↓

西向寺の定紋、松崎小学校の校旗・校章に使用されている。



## たつとの交流コーナー

碧川かたを朝ドラの主人公にする会」では有志によって、かたの絵本『赤とんぼよ永遠に』をこの3月出版されました。レトロな色つかいで、わかりやすい表現にしてあります。原作は浜田多代子氏、原画はたつこの市出身の漫画家湯浅香織氏です。是非ご覧ください。

### 「碧川かた研究会に参加して」

竹内さつき

「日本海新聞」の新規会員募集の記事を見て、今年度から入会しました。

四月の研究会では「碧川かた紙芝居」の上演があり、明治・大正・昭和の三つの時代を生きたかたの波乱万丈の人生を知り、女性としてのかたに興味を湧きました。四井さんより「今年度はブックレットの作成を目指す」とのお話があり、具体的な見出し案が提示され、執筆の担当などが決まりました。

五月の研究会では、ブックレットの第一章「かたの出生」、第二章「堀正一家 高知から龍野へ」の原稿を読み合わせました。会員の嶋さんから、和田氏が治めた松崎について安政四年の「御用日記」に基づいた報告があり、かたの実父・和田邦之助が初めて松崎に入った時の記録などが明らかになりました。

入会するまでは、碧川かたについては「赤とんぼの母」のフレーズでしか知らなかったのですが、研究会に参加し、一人の女性として力強く生きてきた碧川かたを知るようになりました。十六歳の若さで結婚し操と勉を出産するも離縁を言い渡され、操を置いて鳥取に帰らねばならなかった時はどれほど辛かったろうと思います。しかし、かたはくじけることはありませんでした。かたの気概は、その後の女性の権利を訴える運動へとつながっていくように思います。

#### 碧川かたのよ

うな女性が鳥取に生まれたことは地元の誇りです。碧川かたの



竹内さつきさん

ことをもっと知りたいですし、一人でも多くの人に彼女のことを伝えていきたいです。

### 「今年度のイベント」

● 「赤とんぼの母」紙芝居上演とお話し

〔日時〕9月5日（日） 14時～15時

〔場所〕 鳥取市中央図書館

● 生涯現役まつり&歴史大河ドラマ選考会

〔場所〕 米子市

〔日時〕9月12日（日） 10時～16時

詳細は未定

● 「赤とんぼの母」紙芝居上演

〔日時〕10月2日（土） 14時～16時

詳細は未定

〔場所〕 鳥取市やまびこ館

まなびのひろば

● 次回第17回研究会は湯梨浜です。

〔場所〕 湯梨浜町 龍徳寺

〔日時〕 6月17日（木）

午後1時30分～15時00分

どなたでも参加できますので、マスク着用で、気軽においでください。